



職場の問題を考える④

対処療法すぎませんか？

膨大な数の駅の管理を「対処療法」的にすれば、こうなります（イメージ）

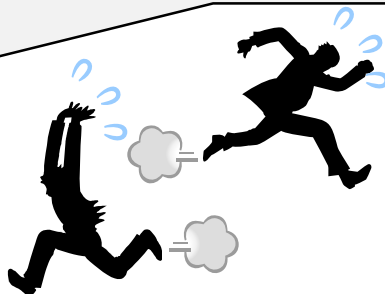


毎年この時期は来てたのに、
何で来なくなったの？

おいっ、お宅の線路脇の草がウチに入り
込んできてるじゃないか！
除草はどうなってるんだ！

現場長

苦情が出たから、
(暑いのは承知だけど)
行ってきて。



慌てて準備
→酷暑なのに除草

ある職場ではコストカットの一環として、管理している全駅での計画的な除草作業を止めることに。当該職場の現場長は「除草作業は苦情が入った時だけやる」という方針を立てており、ほぼ放ったらかしの状態で夏を迎えた結果、沿線住民から苦情の嵐が。

従来の計画的行動は社員の生命を守る観点から実施してきたのに、今や酷暑の中での作業を余儀なくされています。こんな後手で、**対処療法的な対応**でJR東日本のファンが増えるのでしょうか？ 地道に築き上げた信頼をコストカットの名の下で失うわ、酷暑下での作業で社員の健康を害するわ、ではファンは増えるどころか離れてしまうのではないですか？

**計画的行動には意味があり、必要なこと。
コストカットで社員の健康を害しては元も子もない!**